

国 宝 瑞 龍 寺

Z U I R Y U J I

加賀藩二代藩主前田利長公の菩提寺

加賀藩百二十万石の財力を如実に示す江戸初期・禅宗の典型的な建造物群で、30年振りの国宝指定の唯一のものです。



国宝山門



国宝仏殿



国宝法堂

沿革

曹洞宗高岡山瑞龍寺は、加賀二代藩主前田利長公の菩提を弔うため三代藩主利常公によって建立された寺である。

利長公は高岡に築城し、この地で亡くなった。加賀百二十万石を譲られた異母弟である利常公は、深くその恩を感じ、時の名匠山上善右衛門嘉広をして七堂伽藍を完備し、広山恕陽禅師をもって開山とされた。

造営は正保年間から、利長公の五十回忌の寛文三年(1663)までの約二十年の歳月を要した。当時、寺域は三万六千坪、周囲に壕をめぐらし、まさに城郭を想わせる。国宝として指定されている建造物は山門、仏殿、法堂で、総門、禅堂、大庫裏、大茶堂、回廊三棟が重要文化財として指定されており、江戸初期の禅宗寺院建築として高く評価されている。



法堂内陣

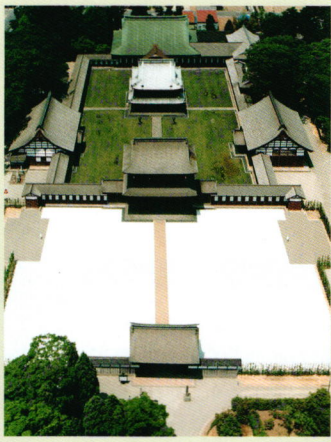


高岡山 瑞龍寺

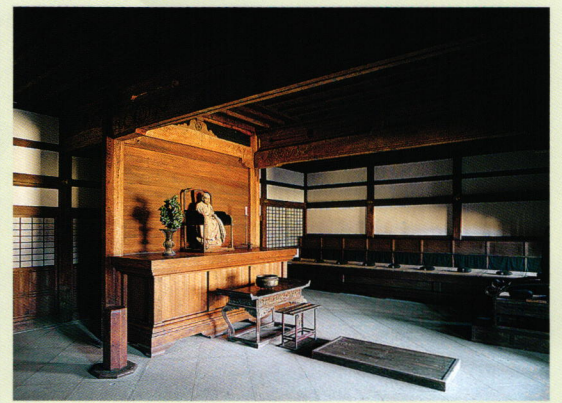
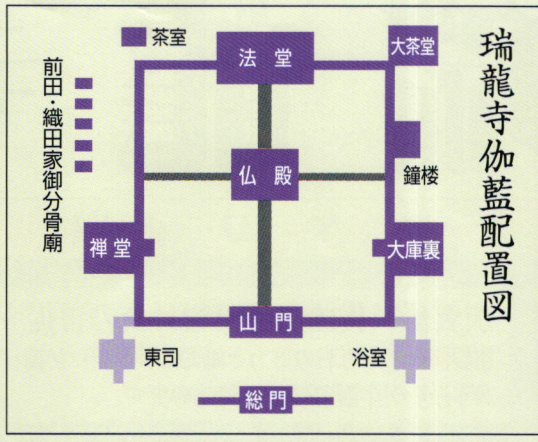
〒933-0863 富山県高岡市関本町35
電話(0766)22-0179 FAX(0766)26-6978
URL <http://www.zuiryuji.jp/>

拝観時間 通常 9:00~16:30 冬季(12・1月) 9:00~16:00





全 景



重要文化財 禪堂



烏瑟沙摩明王像



重要文化財 総門



前田利長公・織田信長公御分骨廟

交通アクセス

- 高岡インターより車で10分
- 砺波インターより車で25分
- 小杉インターより車で15分
- 北陸新幹線新高岡駅より徒歩10分
- あいの風とやま鉄道高岡駅瑞龍寺口より徒歩10分

